

# LANEY / IRT-X

取扱説明書

Ver1.00



株式会社 サウンドハウス  
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3  
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222  
<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)

## はじめに

IRT-Xは、8インチウーハーユニットと1インチコンプレッションドライバーを採用し、多様なニーズに対応するべく、フラットなサウンドに設計されています。ギター用キャビネットやエクステンションキャビネット、フロアモニターの他、モデリングアンプやマルチエフェクターとの組み合わせたパワーモニタースピーカーとしても使うことができます。

## コントロール、端子

### ・アンプセレクタースイッチ

10WattRMS以下のアンプ、または10WattRMS以上のアンプを選択し、スイッチ下のインプットにパワーアンプで増幅された信号を接続することができます。

### ・FX

外部のFXプロセッサーを接続します。FXプロセッサーにステレオアウトがあれば、ステレオで接続することも可能です。また、ラインアウトからはモノリターンに入ったエフェクトサウンドが出力されます

### ・キャビネットエミュレーション機能

DIアウト信号に1×12、または4×12キャビネットを鳴らしたような豊かなサウンドを出力します。

### ・PA

DIアウトからIRT-Xの信号を直接ミキサーやレコーダーに接続できます。外部エフェクトをかけた信号か、ドライ信号、キャビネットエミュレーションも選択可能です。

### ・モノブロック・オプション

外部スピーカーを接続し、IRT-X内のパワーアンプで増幅された信号を出力できます。その際はセレクタースイッチをINTERNALからEXTERNALに切り替えて使用します。

### ・インプットレベル

入力されたダイレクトアウトやラインの信号のレベル、またはエフェクトセンドのレベルを調整します。

### ・DI/LINE IN

プリアンプなどから出力したライン信号をこのXLRコンボジャックに入力します。

#### ・ AUX IN

MP3プレーヤーなど外部音源を接続します。音量の調整は、プレーヤー側のボリュームコントロールで行ってください。

#### ・ ERL機能

ギターコンボアンプの内部スピーカージャックを外してIRT-Xのインプットに接続し、下のスルーアウトからギターコンボアンプのスピーカーへ繋がります。アンプはスピーカーアウトが二つある場合は片方のスピーカーアウトからIRT-Xを接続します、インピーダンスも変える必要がありません。

#### ・ VOLUME:

IRT-Xの全体ボリュームの調整を行います。

#### ・ TREBLE

プリアンプの高音域のブースト/カットを行います。

#### ・ BASS

プリアンプの低音波のブーストカットを行います。音が一番大きい時にLEDが点灯するように設定すると最適レベルになります。

#### ・ CLIP LED:

音がクリップする直前に点灯します。ピークのときのみ点灯するようにレベルコントロールを設定します。LEDが連続で点灯している状態だと、スピーカーや機材へダメージを与える恐れがあります。

#### ・ POWER LED:

電源を入れると点灯します。

#### ・ SPEAKER SELECT:

EXTERNAL（外部スピーカー出力）または、INTERNAL（内部スピーカー出力）を選択します。EXTERNALにセッティングした場合は、スイッチ左側のフォン端子からITRXで増幅されたサウンドが出力されます。

※接続には必ずスピーカー専用ケーブルをお使いください。

### AMPLIFIER SELECTION SWITCH

Gives you the option of connecting amplifiers with Less than 10W RMS or greater than 10W RMS.

### LEVEL CONTROL

Balances the amount of signal which appears at the FX-Loop send – makes sure that any external FX are driven at a desirable level.



### FX SEND via DI OUT

Connecting an IRT-Studio – use the on board balanced XLR Di out on your IRT-STUDIO to connect to the IRT-X using the combi XLR/Jack feature. This socket can also be used to connect other DSP based modelling products that are equipped with balanced XLR outs.

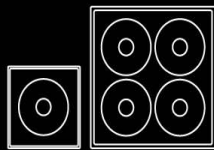
### FX

Use this to connect to you external FX processor. The level of signal is controlled by the Level control. If your FX processor has stereo outs then you can connect the left and rights independently. You could also send one of the returns back to your amps FX loop to run a stereo set up.



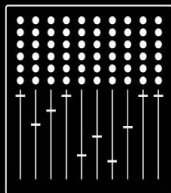
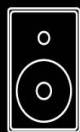
### CABINET EMULATION FEATURE

Switch in a 1 x 12 or a 4 x 12 Cabinet emulation feature to the DI out signal.



### ADDITIONAL IRT-X FOR STEREO OPERATION

Use this socket to connect to an additional IRT-X and run in Stereo Mode to give you a massive sound.

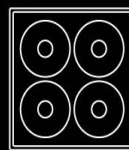


### PA

Balanced XLR-DI out for sending you IRT-X signal direct to the PA – no need to mic your IRT-X. This signal can be with or without FX, Dry or with cabinet emulation.

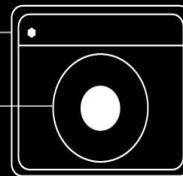
### MONOBLOC OPTION

Connect an external speaker cabinet here in order to utilise the IRT-X's 200 Watts RMS output section. Makes everything gigable!



### MP3 PLAYER

Use this socket for connecting an external sound source – the volume of the sound source is controlled by its on-board volume control.



### ERT FEATURE

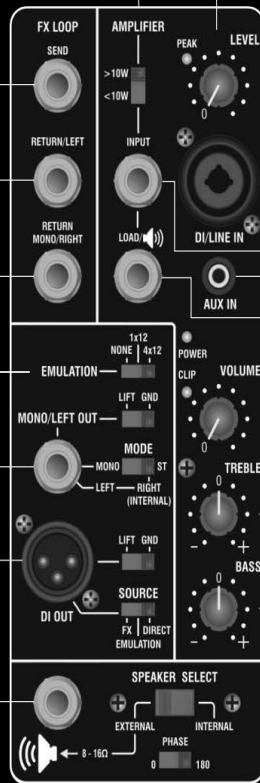
Connecting the IRT-X utilising the ERL feature. Simply remove your amps on-board speaker jack and connect the speaker output socket to the input of you IRT-X. Then connect the Load socket back to your amps internal speaker. If your amp has 2 speaker out sockets then there is no need to remove the on-board speaker – simply connect the IRT-X to the second speaker output and there is no need to adjust the amps impedance setting.

### MASTER VOLUME

Controls the overall level of the IRT-X

### EQ

On Board EQ. Allowing you to set the IRT-X to the desired tone.



## 使用パターン

### ①パッシブスピーカーキャビネットとして

ギターアンプヘッドのスピーカーアウトから、IRT-Xのインプット（パッシブ）に入力します。

※接続には必ずスピーカー専用ケーブルをお使いください。

### ②コンボアンプのエクステンションキャビネットとして

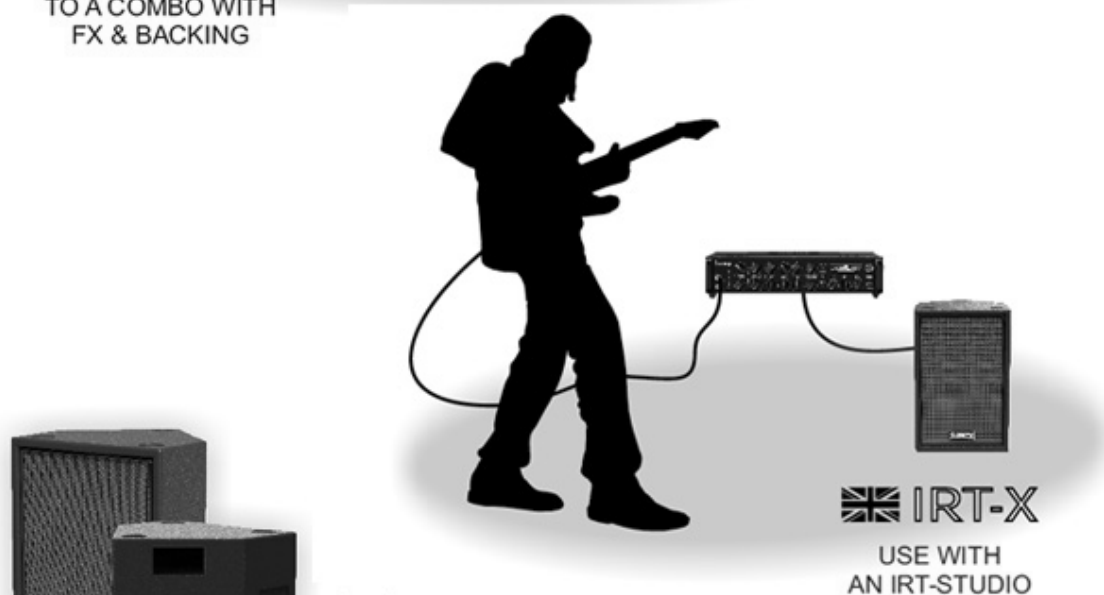
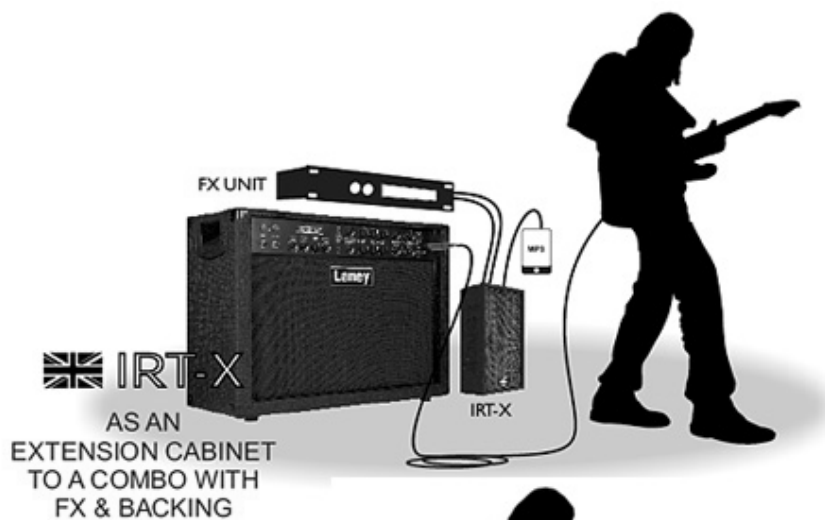
ギターコンボアンプの外部スピーカーアウトから、IRT-Xのインプット（パッシブ）に入力します。

※接続には必ずスピーカー専用ケーブルをお使いください。

### ③モニタースピーカー（アクティブ）として

マルチエフェクターやプリアンプなどから出力したライン信号をDI/LINE INのコンボジャックに入力します。IRT-X本体のパワーアンプで増幅して音を出すことができます。

※接続には楽器用ケーブルをお使いください。



*So how are you  
going to use yours?.....*



## スペック

- ・ 電圧 : 100-115V (85-132v)
- ・ 定格電力 : 100W 50/60Hz
- ・ 出力 : 200W/4Ω
- ・ スピーカー : 8" × 1カスタム
- ・ 1インチコンプレッションツイーター
- ・ 周波数特性 : 40Hz-35kHz
- ・ 寸法、重量 : 280W × 425H × 265Dmm、11.5kg

## 修理について

故障かなと思われる症状が出た時には、この取扱説明書をもう一度よくお読みになり、接続や操作などを御確認下さい。それでも改善されないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

### お買い上げ日より1年間有効

#### ■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適當（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

#### ●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

#### ●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

#### ●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。